

特別な配慮等を必要とする児童生徒支援研修会

7月25日（金）に、富山県総合教育センター 教育相談部 研修主事 北川裕佳子先生・村尾伸洋先生を講師にお招きし、「特別な配慮等を必要とする児童生徒支援研修会」を開催しました。講話テーマは、「ユニバーサルデザインの考えを取り入れた学級経営と学習指導について」でした。

講話では、ユニバーサルデザインの基本的な考えについてご説明いただきました。ユニバーサルデザインとは「より多くの子供たちにとって分かりやすく学びやすく配慮された教育デザイン」であること、「授業」「教育環境」「人的環境」の三つの構成要素があることをご教示いただきました。

特に、ユニバーサルデザインの考えを授業づくりにどう取り入れるかについて、具体的な支援例を交えてご紹介いただきました。一部をご紹介します。

①導入の工夫

例：クイズ形式で始めるなど、学習の興味をもてるようにする。 等

②学習の見通しがもてる工夫

例：教科ごとに一定の型で授業を進める。 等

③多様な感覚を生かして学べる場の工夫

例：立つ・座る場面を意図的に取り入れる。 等

④教師の指示や発問の仕方

例：あとちょっと等、曖昧な指示を避ける。 等

⑤板書やワークシートの工夫

例：拡大コピー等「見える教材」の活用 等

⑥終末の工夫

例：板書（視覚的）と音読（聴覚的）を組み合わせ複線的に振り返る。 等

研修会後半では、グループで事例検討を行いました。悩みを共有したり、学級全体に対してどのような工夫が必要かを考えたりしました。支援方法について意見を出し合う中で、2学期から実施すべき支援について見通しをもちました。



指導講話



ペアで意見交換



グループでの事例検討

受講者の感想

悩みを話すことで気持ちが楽になりました。合わせて、強みや得意を生かす授業が生徒の実態に合っていると言われたことで、次に繋げる意欲につながりました。今回の研修に参加してよかったと感じています。
参考になる点を今後生かしていきたいです。ありがとうございました。
本日はありがとうございました。本日は授業のことについて詳しく教えていただき、2学期以降取り入れていきたいこともたくさんありました。また、自分の行っていることがインクルーシブ教育に結び付いていることも理解できたことも良かったです。人的環境や教育環境についても詳しく学びたいと感じました。本当にありがとうございました。
特支コーディネーターとして、各担任の先生方にアドバイス・フィードバックできるような内容をたくさん知ることができ、充実した研修となりました。今まで何気なく導入の仕方に気をつけていたことは、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた支援となるのだと今日初めて気づき、日頃から何気なく配慮している事はインクルーシブ教育につながっているのだと感じました。簡単に取り入れられる支援は、積極的に研修などで広めて行きたいと思います。ありがとうございました。
とても充実した研修でした。ありがとうございました。
2学期から頑張ろうと思える研修会でした。ありがとうございました、
インクルーシブ教育システムやユニバーサルデザインについて、分かったつもりで実は浅い知識しかなかった自分に改めて気付かされました。支援級に在籍する児童が交流級に行っても、授業の内容が分かり、参加しているという実感・達成感をもつことができるようにするためには、どんな支援ができるのかをこれを機会に考えていきたいと思いました。また、講演だけでなく他の学校の先生方の困り感を聞き、支援方法を考える時間があったのが良かったです。ありがとうございました。
自分が普段していることを改めて見直すきっかけになりました。ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりについて分かりやすく教えてくださりありがとうございました。
具体的な手立てをいくつも教えていただいてありがたかったです。ありがとうございました。
特別支援教育コーディネーターの先生から、今回もたくさんの気づきを教えてくださいました。
特別支援についての基本的な話を聞くことができ、特別支援について理解を深めることができました。プログラムの最後の情報交換で現場のリアルな悩みを打ち明けることができ、相談ができたことが良かったです。市内の通級担当の先生や特別支援の先生との関わりをもつことができたのがとても良かったです。
抽象的な課題に取り組む力を求められた場合、どう対応したらよいか考えていきたいと思いました。